

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名	BARI BARI block party! I Love IMABARI!					
実施団体名	今治スケートボード協会					
事業概要	<p>当団体は2015年からは一ぱりマーケットと共催しスケートボード教室をこれまでに21回開催してきた。このスクールには常時30名程度の子どもが訪れ、スケートボード競技の振興に努めてきた。</p> <p>マイナー競技であったスケートボードが来年のオリンピックでは正式種目になり、この新しい協議が正式競技になっていく流れは新たなスポーツの潮流となっている。今治ではなかなか体感できない新しい競技を一同に会する。</p> <p>11月3日（日）は一ぱりコンコース周辺にて、スケートボード、インラインスケート、BMX、スラックライン（綱渡り）、ダブルダッチ（縄跳び）、3×3（バスケット）等を同時開催。ダンス、DJ、マルシェ等も開催。若者・子どもに向け新しいスポーツの楽しさを発信した。</p>					
事業の発展性	<p>来年度も今年度をベースとして開催する予定である。</p> <p>アンケート結果にあったボルタリングと何らかの連携をとり開催し、今治港に新しいスポーツのフィールドとしての価値を加えていきたい。</p>					
補助額	市補助額	500,000	総事業額	752,903	補助対象経費	718,157
コメント	実施団体	<p><事業を実施しての効果></p> <p>今回のイベントはNPO法人今治シビックプライドセンター、今治国際交流協会、ミナト今治音楽横丁の方々と共同開催することにより、参加者の方が今治港・商店街を回遊する機会を提供できた。広報面でも協力していただき、当団体以外のちらしにも掲載できた。協働開催により、全体での参加者は2500人と聞いている。バリバリブロックパーティへの参加者は1000人を超え、多くの方に体験いただいた。アンケートは126件の回答があり、お母さん方からは「楽しかった、また開催してください」という声が多く聞かれた。</p> <p>新しいスポーツに関心のある子どもは思っていた以上に多く感じた。スポーツはやりたいが、「自分にあったものがない」という声も聞こえた。</p> <p>コンコースで実施した3×3は想像以上の盛り上がりを見せ、次回以降の開催について様々な声が上がっていた。他のスポーツとの交流を主眼にした初めての試みは、課題と共に可能性を感じた。</p> <p><事業を実施しての問題点></p> <p>新しいスポーツであり、ケガ等を想定し保険に入っていたものの、スラックラインにて参加者が骨折した。安全面については講師に気を付けるようお願いしていたが、想定以上の来場者があり、危機管理の面で目が届かなかった部分があった。</p> <p>また各スポーツを「体験とパフォーマンス」に分けて考えるところまで、運営側が把握していなかった。ダブルダッチについてはチームとしてパフォーマンスも確立されており、見学の後参加する流れができていた。</p> <p>各団体の講師の招聘においては3×3のバスケットは団体ではなく有志の協力となったため、NPO法人今治シビックプライドセンターが主体となって運営し、委託料を支払った。参加チーム募集など、想定していないことも出てきた。</p> <p>また、I LOVE IMABARI という会場全体の雰囲気づくりについては時間・スタッフを割けず、アンケートのみとなった。</p> <p><問題点に対する解決策></p> <p>見せる要素の多いスポーツに集まってもらったが、「見せる・楽しんでもらう」という視点だけに走らず、（1）安全（2）体験（3）パフォーマンス の分野に分け、各団体の統一意識を創り上げることが、参加者の満足度の向上につながるとわかった。</p> <p>不特定多数の参加募集だけでなく、競技・試合への参加も募り、試合を観てもらおうというエンターテイメント性も強化していきたい。</p> <p>「今治に何も無い」という声を払拭するため、参加者全体が共有する I LOVE IMABARI のアプローチを創り上げる。今年度をスタートとして、協賛していただける企業・団体を募っていく。</p>				

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名	BARI BARI block party! I Love IMABARI!
実施団体名	今治スケートボード協会
コ メ ン ト	<p>（１）公益性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益性は低いのではないか。 ・市民が多く集まるタイミングに合わせて開催したことで、大勢の方に参加してもらえたことは素晴らしい。 ・集客力がある、親子で楽しめる事業で、たくさんの方が参加できるので公益性の高い事業だと思う。 <p>（２）自発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱意はある。 ・様々な団体と協働して事業効果を高める努力ができています。 ・スケートボードやスラックラインなどを広める努力が認められる。 ・積極的に協会が中心となって行っているのが良かった。予想以上の参加者だったという事で怪我をした子が出たのは残念だが、しっかりアフターフォローもできていて安心した。 ・今回のアクシデントを次回反省としてより安全で楽しいものにして欲しい。 <p>（３）費用対効果及び継続性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金が無ければなかなか進まないのではないかと。次回以降は補助金以外の収入源の確保を検討されたい。 ・多くの参加者があり、効果はあったと思われる。補助金が無くても参加料をとれば開催できる。 ・30店舗の店が出店しているが収益は出たのか、イベントも安全性を考えると参加料を考えるとよい。事業の組み立てをしっかりとすることで補助金が無くても持続可能だと思う。 <p>（４）団体の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港のコンコースを利用して若者が集うことに期待する。 ・これまでもスケートボード教室を開催しており、専門性は十分認められる。 ・各団体とも協働できていて信頼性もあると思う。 <p>（５）事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の満足はどうだろうか。 ・子どもたちに様々なスポーツに触れる機会が提供でき、港周辺の活性化に寄与したと感じられる。 ・コンコースを有効に使い、港周辺に集客できるイベントを開催することは効果がある。 ・たくさんの参加者があり、参加者へのアンケートでも良い評価なので、どんどん回を重ねるたびに良くなっていくと期待できる。 <p>（６）全体評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治においてはマイナーのイメージが強いスポーツ。オリンピックの種目になったことから、運営をしっかり行い、イメージアップにつなげてもらいたい。 ・大勢の市民に参加してもらった企画を考え実施できて素晴らしい。たくさん回収できたアンケートを活用してよりよい事業構築をしていただきたい。 ・報告書の添付写真からも、参加者の楽しそうな雰囲気が伝わってきた。予想を上回る参加者を得たことで、事業の効果や意義を実感されたことと思うが、怪我人が出たことは非常に残念。次回からは事前に入場整理券を配布するなどして、参加者数を把握することが必要だと思う。安全面を考慮した十分なスタッフ配置が難しいようなら、スポンサーを募る、あるいは、入場料を徴収することも検討されると良いのではないかと。 ・新しいスポーツを広めるのは良いことである。けがの可能性のあるものにはマットを敷くなど、安全対策が必要。多くの人が集まるイベントであるので、スタッフ増員など運営面での見直しが必要。港周辺の活性化には効果がある。 ・「はーぱりー」という今治の新名所で参加者が2500名以上と大盛況であった。これからのスポーツの練習場や教室もまだまだ少ないようなので、新しいスポーツに親しんでいただける場にはなった。ほとんどが小学生以下の子供さんが保護者等と参加していたとは思いますが、危険も伴う。体験ブースでは、未経験の子供さんの参加を考えると安全確保を考えたスタッフの人員数は十分であったか。今後の開催については「安全」に配慮した計画を立てて臨んで欲しい。新しいスポーツの今後の発展を期待する。 ・色々な世代間交流ができ、素晴らしいイベントが開催できている。事故がおこったことは残念だが適切に対処されており、今後も長く活動できるよう取り組んでいただきたい。 ・普段なかなか経験できないことができる、世代を超えて楽しめる事業に育てて欲しい。